

5年生の漢字



185字

数字ははげみの番号

75	74	73	72	71	70	69	68	67	66	65	64	63	62	61
略	報	評	独	態	祖	性	術	枝	再	減	境	幹	恩	圧
留	豊	貧	任	団	素	政	準	師	災	故	均	慣	可	移
領	防	布	燃	断	総	勢	序	資	妻	個	禁	眼	仮	因
	貿	婦	能	築	造	精	招	飼	採	護	句	基	価	永
	暴	富	破	張	像	製	承	示	際	効	群	寄	河	営
	務	武	犯	提	増	税	証	似	在	厚	経	規	過	衛
	夢	復	判	程	則	責	条	識	財	耕	潔	技	賀	易
	迷	複	版	適	測	績	状	質	罪	鉦	件	義	快	益
	綿	仏	比	敵	属	接	常	舍	雜	構	券	逆	解	液
	輸	編	肥	統	率	設	情	謝	酸	興	險	久	格	演
	余	弁	非	銅	損	舌	織	授	贊	講	檢	旧	確	忘
	預	保	備	導	退	絶	職	修	支	混	限	居	額	往
	容	基	依	徳	貸	銭	制	述	志	査	現	許	刊	桜

●漢字についてのお話 その2

☆ 同音の漢字の使い方に注意しよう。

○あつい { 暑い 厚い }
 ○おこる { 起こる 興る }
 ○わかれる { 別れる 分かれる }
 ○あらわれる { 表れる 現れる }
 ○とる { 取る 採る }

○つとめる { 努める 勤める }
 ○なく { 泣く 鳴く }
 ○のぼる { 上る 登る }
 ○のぞむ { 望む 臨む }
 ○あらわす { 表す 著す }
 ○おさめる { 収める 納める 修める 治める }

○かん { 勸 (勸告) 飲 (飲喜) }
 ○せき { 積 (積雪) 績 (成績) }
 ○けい { 形 (形式) 型 (模型) }
 ○ふく { 複 (複数) 復 (往復) }
 ○ぐん { 群 (群集) 郡 (郡部) }

☆ 書きまちがいやすい漢字に注意しよう。

○補 (補) × 具 (具) × 易 (易) × 展 (展) × 熱 (熱) × 預 (預) × 迎 (迎) × 専 (専) ×

☆ 形の似ている漢字に注意しよう。

券 (乗車券) 困 (貧困) 入 (人間) 休 (休日) 王 (王様) 式 (入学式)
 巻 (上巻) 困 (原因) 入 (入学) 体 (体育) 玉 (玉石) 式 (式百円)

池 (池や湖) 門 (専門) 貨 (貨物) 水 (氷) 犬 (太) 日 (白日) 地 (土地) 問 (質問・訪問) 貨 (貸) 水 (氷) 太 (犬) 日 (白日) 月 (日)

オ	イ	心	シ	シ	血	日	行	心	水	口	イ	土	部 音
桜	往	応	演	液	益	易	衛	營	永	因	移	圧	漢 字
さくら	オウ	オウ	エン	エキ	エキ やさしい	イ・エキ やさしい	エイ	エイ いとなむ	エイ ながい	イン	イ うつす・うつる	アツ	読 み 方
一十オオオオオオ桜桜桜	ハタヘ行行行往	一广广広広応	、ニシシシシ演演演演	、ニシシシシ液液液液	、ニシシシシ益益益益	一ロロ日日易易易	ハタヘ行行行行衛衛衛衛	、ハハハハハハ營營營營	、ハハハハハハ永永永永	一ロロ因因因	、ニシシシシ移移移移	一厂厂厂厂圧	筆 順
桜色 夜桜	往ふく 往生	応せつ間 応用 応えん	演そう 演説	液体 血液	利益 無益	よう易 ぼう易	衛生 自衛隊	自営業 けい營	永住 永遠 永きゆうせい	因果 原因	移住 移動	圧力 電圧	使 い 方

- 1 船が氷の でこわされる。 をはかる。
- 2 貯木場の木を させる。ねずみを研究室に した。アメリカに する。
- 3 オーロラの起こる は何だろう。事けんの 関係を調べる。
- 4 石の橋は きゆうせいがある。ブラジルに する。 の別れ。
- 5 深海にも生を む生物がいる。しよく業は です。食堂をけい する。
- 6 あの食堂は に気を付けている。陸上 。
- 7 漁業やぼう などの仕事をする。この問題は、よう にとけない。
- 8 新せい品を売って を上げる。 なことはしたくない。
- 9 と固体。 型を調べる。
- 10 いろいろな曲芸を じる。 そう会をききにいく。 をする。
- 11 せつ で話をする。 問題をとく。赤組を えんする。
- 12 車が道のまん中で立ち している。名古屋まで ふくの切ぶを買う。
- 13 けんこん院に を見学に行った。四月になると の花が満開になる。 の貝を拾う。

り	頁	石	才	角	十	貝	之	シ	イ	イ	口	心
刊	額	確	格	解	快	賀	過	河	価	仮	可	恩
カン	ガク ひたい	カク たしか・たしかめる	カク	カイ とく・とかす・とける	カイ こころよい	ガ	カ すぎる・すこす	カ かわ	カ	カ かり	カ	オン
一 二 千 刊	・ハハカ 夕安客客客 額額額額額	一 厂 石石石 砂砂砂 破破破 確確確	一 十 才才才 才才才 格格格	ノ ク 角角角 角角角 解解解 解解解	ハ 十 十 十 快快快	フ カ 加加加 加加加 賀賀賀 賀賀賀	一 口 口 口 馬馬馬 馬馬馬 過過過	・ シ シ 河河河 河河河	ノ イ 仁仁仁 価価価 価価価	ノ イ 仁仁仁 仮仮仮 仮仮仮	一 口 口 口 可 可 可	一 口 口 口 内内内 因因因 因因因 恩恩恩 恩恩恩
朝刊 刊行	金額 生産額	正確 確実	合格 せい格	理解 解説	快晴 全快	年賀 じよう 祝賀会	過去 通過	河川 氷河期	物価 高価	仮定 仮説	きよ 可 可のう	恩し 恩人

14 あの老人はわたしの命の□□だ。五年生の□□しを思い出す。

15 不□□のうを次々に□□のうにしてきた人間。外出きよ□□しように持って出かける。

16 火星に生物がいると□□する。実験の前に□□を立てる。

□□にかなで書いておこう。

17 クリスタルガラスは□□だ。□□が上がっている。

18 マンモスは□□□□に全めつした。□□工事をする。

19 登山隊は山の部落を□□した。犬がそばを走り□□ぎて行った。□□の出来事。

20 友達がくれた□□□□じよう。ゆう勝□□□□。

21 すばらしい□□□□、しかも風がない。海をわたる夕風がはだに□□い。病気が□□□□する。

22 □□□□しやすいようにくふうする。野球の□□□□を聞く。

この算数の□□き方を教えて。

23 入学試験を受けて□□した。明るいせい□□の女の子。

24 数字や名前を□□□□に書きとめる。□□□□に覚える。

25 □□□□のハパーセントをゆ出する。先生は□□□□に深くしわをよせた。□□□□が高い。

26 一八五二年に□□□□された本。□□□□を読む。

言	尸	臼	ノ	之	羊	才	見	一	土	目	十	干
許	居	旧	久	逆	義	技	規	寄	基	眼	慣	幹
ゆるす キヨ	いる キヨ	キユウ	ひさしい キユウ	さからう・さか ギヤク	ギ	ギ	キ	よる・よせる キ	キ	ガン	なれる・ならす カン	カ ン み き
・ ト シ ト シ ト ト ト ト ト ト ト ト ト	フ フ フ フ フ フ フ フ フ フ フ フ フ	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	ノ ク 久	、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	一 才 才 才 才 才 才 才 才 才 才 才 才	一 ニ 才 夫 夫 夫 夫 夫 夫 夫 夫 夫 夫 夫	、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	一 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十	一 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	一 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十
許可 めん許	居住者 新居	新旧 旧家 旧校しや	永久 持久力	逆方向 逆風	正義 義む	技じゆつ 演技	規そく 規格	寄付 寄宿しや	基本 基地	眼科 老眼鏡	習慣 慣例	新幹線 幹部

27 に乗った。父が会社の になった。

28 食事の前に手を洗う だ。やっと学校に れた。 をやぶる。

29 目がいたいで に行った。 をかける。

30 おきなわにはアメリカ軍の がある。 を大切にする。

31 しゃに入る。やしの実の流れ るはま辺。たくさんの をする。

32 そく正しい生活をする。これは日本の工業 に合っている。

33 道路建せつの じゅつは進歩している。一年の運動会の はダンスだ。

34 どれい解放は人間の むだ。 の味方。

35 から道路に乗り入れる。 で進まない。

36 友と に別れた。 にすぐれた人。 しぶりにこきょうの土をふんだ。

37 ぼくの教室は しゃの二階にある。あの家は だ。 入り交じる。

38 の多い地帯をさける。ざしきに ながらに湖が見えた。 がやっと完成した。

39 太平洋横だんの を取る。母は喜んで旅行を してくれた。車のめん しよう。

- 40 この川が□□だ。となりの学区との□□を引く。となりの家との□□に木を植えた。
- 41 □□を出す。百円□□。
- 42 土足で上がることを□□する。あゆつりが今日から□□になる。
- 43 □□の使い方に気を付ける。□□を言う。
- 44 きれいに着かざった□□しゅう。新型の自動車の周りに□□がる人々。
- 45 小さな子どもたちの□□れ。いなごの□□が田畑をおそう。
- 46 大府を□□して、名古屋へ行く。
- 47 きつ茶店を□□する。月日を□□る。
- 48 身の□□をしよう明する。手を□□にする。
- 49 あの□□は解決した。会社にさい用されるじよう□□。
- 50 □□はまもなく売り切れた。自動はん売機で□□□□を買う。
- 51 つきさすような□□しい目。生命ほ□□に加入する。あの海で泳ぐのはき□□だ。
- 52 目の□□さを受ける。戸じまりの□□□□をする。
- 53 開発は□□□□にきている。記おく力には□□りがある。あまいものをせい□□する。
- 54 心の動きを生き生きと□□□□する。西の方に雲が□□れた。□□ざい・過去・未来。

木	ミ	言	白	木	多	来	厂	力	言	イ	文	シ
查	混	講	興	構	鉦	耕	厚	効	護	個	故	減
サ まぜる・まじる・まざる	コン	コウ	キョウ・コウ	コウ かまえる・かまう	コウ	コウ たがやす	あつい	コウ きく	ゴ	コ	コ	ゲン へる・へらす
一十才木木杳杳查	・ミシシシ 混混混混混	・ムシ言言言言言 講講講講講	・イイイ目用用用用用 興興興興興	一才才木木杳杳杳 構構構構構	ノハム金金金金金 鉦鉦鉦鉦鉦	一三三丰来来来 耕耕耕耕耕	一厂厂石石石石石 厚厚厚厚厚	一ナナ方交効効 効効効効効	・ムシ言言言言言 護護護護護	ノイイ個個個個個	一十才古古古古古 故故故故故	・ミシシシ 減減減減減
検査 調査	混らん 混ぜ	講演 講話	興味 興ふん	構成 結構 心構え	炭鉦 鉄鉦石	耕地 農耕	厚着 厚い本	效果的 有効	保護 護衛	個せい 個人	事故 故きよう	減少 加減

- 53 の計算をする。村の人口はほとんど している。児童数が へ。
- 54 のため、とちゅうから引き返した。 きょうへ帰る。
- 55 の意見を出し合う。 せいを大切にする。
- 56 の兵士は二千人以上だ。自然をほ する。
- 57 このカードは明日まで だ。 な方法を考える。この薬はよく 。
- 58 はかぜのもと。分 い辞書。何日もかけて い を読む。
- 59 広々とした新しい 。山はだを してできたパイン畑。 作業をしている人々。
- 60 で働く人々の声を聞く。 の成分を調べる。
- 61 委員会は十名のメンバーで される。いざというときの え。もう です。
- 62 漢字の成り立ちに をもつ。サーカスを見て ぶんする。
- 63 東京から来た先生が本について した。そうじについての を聞く。
- 64 駅のホームはひどく ざつしている。原料を ぜ合わせる。 らんをさける。
- 65 念入りな をくり返す。 を する。

心	支	貝	酉	佳	一	貝	土	尸	扌	女	火	冂
志	支	贊	酸	雜	罪	財	在	際	採	妻	災	再
シ こころざし こころざす	シ ささえる	サン	サン	ザツ・ゾウ	ザイ つみ	ザイ	ザイ ある	サイ	サイ とる	サイ つま	サイ	サイ・サ ふたたび
一十士志志志	一十支支	一ニチ夫夫知知 替替替替替替	一 酉酉酉酉酉酉 酸酸酸酸酸酸	ノ 九九九九九九 雜雜雜雜雜雜	一 罪罪罪罪罪罪	一 財財財財財財	一 在在在在在在	一 際際際際際際	一 採採採採採採	一 妻妻妻妻妻妻	一 災災災災災災	一 再再再再再再
意志 志望	支店 支配	贊成 賞賛	酸せい 酸そ	雜し 雜木林	罪悪 無罪	財せい 財産	現在 そん在	国際 實際	採用 採集	妻子 夫妻	火災 災害	再現 再起

- 66 緒川じょうの合戦を□□する。□□び、もとの道をたどって帰った。□□不のうの体。
- 67 春先のこう水による□□はひどい。□□をふせぐ。
- 68 時おり、□□の顔がうかんで消えた。□□を連れてヨーロッパを旅行した。仲のよい□□。
- 69 こん虫□□の方法を調べる。会社に□□された。
- 70 □□にかけの長さをはかってみよう。□□的に有名な人。
- 71 □□の会員は小学生がほとんどだ。本当にそんな□□していた。
- 72 地位も名声も□□も投げすてる。□□せいは苦しい。
- 73 人間をどれいにするのは□□だ。□□をおかしてばつを受ける。あの人□□だ。
- 74 □□しを読む。□□□□を歩く。
- 75 高山に行くと□□その量が少ない。梅ぼしは□□せい食品です。
- 76 学級新聞を作る方に□□です。A君の絵はみんなに□□された。
- 77 ロンドンに□□□□がある。ホテルの□□人。
- 78 先生の□□を伝える。□□校に入学した。

述	修	授	謝	舎	質	識	似	示	飼	資	師	枝
述 のべる ジュツ	修 シユウ おさめる・おさまる	授 ジュ	謝 シヤ	舎 シヤ	質 シツ	識 シキ	似 にる	示 ジ しめす	飼 かう	資 シ	師 シ	枝 えだ
一十才木木木述	ノイイイ修修修	一才才授授授	、言言言言言言言言言謝謝謝	ノハハ今今今今舎舎舎	、質質質質質質質質質質	、言言言言言言言言言識識識	ノイイ似似似似	一ニ示示示	ノハハ今今今今飼飼飼飼飼飼飼飼飼飼	、資資資資資資資資資資	ノイイ師師師師師師師師師師	一才才木木木枝
記述 述語	修正案 修理	授業 教授	謝罪 感謝	新校舎 宿舎	質問 せい質	知識 標識	顔が似る	指示 けい示	飼育 飼料	資金 資料	医師 漁師	小枝 枝豆

- 79 おじいさんの家の松の木はとてもぶりがよい。を集めてたき火をした。を食べる。
- 80 アメリカにたどり着いた。のしん察を受ける。
- 81 外国へ行くをためる。社会科の集。
- 82 ぶたをすることは苦勞のいることだ。として野菜を集める。
- 83 先生がしてくださった。教室の中のけい物にこめられた思い出。
心の働きをす言葉。
- 84 チーターはひょうにた動物だ。ぼくは父よりも母にがている。
- 85 道路は色の効果を利用してゐる。あの人はいろいろなをもっている。
- 86 分からないときはしなさい。空気のせいを調べる。
- 87 をひと回りました。へ帰る。
- 88 父のはげましにする。ガラスをわったのでする。
- 89 の始まりや終わりを知らせる音楽。あの人は大学だ。
- 90 議員からが出された。テレビをに出す。
- 91 ことばに関する学問をめた。
遠足のとき見聞きしたことをする。自分の意志を最初にべた。を調べる。

リ	耳	糸	十	巾	犬	木	言	手	才	广	氵	行
制	職	織	情	常	状	条	証	承	招	序	準	術
セイ	シヨク おる	シキ なさけ	ジヨウ つね	ジヨウ ウ	ジヨウ ウ	ジヨウ ウ	シヨウ ウ	シヨウ ウ	シヨウ ウ	シヨウ ウ	ジユ ン	ジユ ツ
ノムニ シテ 制制	一丁 F F 耳耳 耳耳 耳耳 職職 職職	くま とと 糸糸 糸糸 糸糸 糸糸 織織 織織	ノハ トト 情情 情情 情情 情情	ノハ トト 常常 常常 常常 常常	ノハ トト 状状 状状 状状 状状	ノク 夕夕 条条 条条 条条 条条	、ユ ミミ 言言 言言 言言 言言 証証 証証	マ 了了 手手 承承 承承 承承	一才 打打 招招 招招 招招 招招	、一 广广 序序 序序 序序 序序	、シ ジジ 准准 准准 准准 准准	ノタ イイ 行行 術術 術術 術術 術術
制度 制服	職業 職員	組織 はたを織る	情熱 情ほう	日常 常用	賞状 状たい	条約 条件	証明 ほ証	承にん 承知	招待 招集	順序 序文	準び 標準	手術 技術

92 高度な□□のいるむずかしい工事。足の□□をする。

93 アナウンサーは□□アクセントで話す。運動会の□□びをする。

94 相談する□□をみんなにはかる。□□を考える。

95 たん生会にお客を□□する。お祭りにお客として□□かれた。会を□□する。

96 村の人たちに□□してもらおう。みんなの□□にんを得る。

97 事実がすべてを□□します。このラジオは一年間のほ□□付きです。

98 野鳥をほ護するための□□を話し合った。アメリカと□□を結ぶ。

99 か取り線こうはうずまき□□だ。ゆう勝して□□をもらった。健康□□たいがよくない。

100 □□生活に使われる記号。□□に地球全体の気象を観そくする。すいみん薬を□□する。

101 つつましく、□□け深いぼうさん。□□ほうを集める。研究に□□をかたむける。

102 社会生活をする上に必要な□□。一人ではたを□□る。

103 灯台の□□の方の説明を聞いた。父の□□は教師です。

104 社会の□□を理解する。中学校の□□。

金	糸	舌	言	才	糸	貝	禾	衣	米	力	文	卜
銭	絶	舌	設	接	績	責	税	製	精	勢	政	性
セン たえる・たやす・たつ	ゼツ した	ゼツ もうける	セツ セツ	セツ セツ	セキ せめる	セキ ゼイ	ゼイ ゼイ	セイ セイ	セイ いきおい	セイ セイ	セイ セイ	セイ セイ
ノハト金金金金金金銭銭銭	くくく糸糸糸糸糸糸絶絶絶	一二千舌舌	、、言言言言言言設設設	一才才才才才才接接接	くくく糸糸糸糸糸糸績績績績績績	一十中中中中中責責責責	一二千禾禾禾禾禾禾税税税	ノ一ニ何何何何何何制制制制制制製製製製	、ソソ半半半半半半米米米米米米精精精精精精	一十ニ六六六六六六勢勢勢勢勢勢勢勢	一丁下正正正正正政政政政	ハハハ性性性性性性性性
金銭 銭湯	絶対 気絶	舌をまく	建設 設定	接近 直接	成績 功績	責にん 責む	税金 税関	製品 製鉄所	精神 精算	勢力 し勢	政治 政府	計画性 性格

117 116 115 114 113 112 111 110 109 108 107 106 105

□□にとんだ登山隊のリーダー。あの人は□□が明るい。

□□の勉強をするのが目的だ。□□が国の予算を立てる。

□□いこんで組みついてきた友達。□□争いにまきこまれる。し□□を正す。

たくましい体と□□をきたえる。料金の□□をする。

□□を送り出す。□□の見学をする。

□□にはいろいろな種類がある。飛行場には□□がある。

□□にんの重い仕事をまかせる。人の失敗を□□めてはならない。社長の□□むは重い。

ぼくは国語の□□がいい。□□を残す。

天気予ほうは生活と□□関係がある。台風が□□してきた。

鉄橋の□□工事が始まった。海や山中に観そく所を□□ける。場面を□□する。

犬は□□をだらりとたらししていた。あの人の努力には□□をまく。

□□に何も言わない。□□えず周囲に気を配る。おどろいて□□した。

□□的なそんな失ばかり見るのはよくない。

お金をはらって□□に入る。

貝	之	才	玄	尸	シ	リ	才	イ	之	糸	糸	ネ
貸	退	損	率	属	測	則	増	像	造	総	素	祖
かす	タイ しりぞく・しりぞける	ソン	リツ ひきいる	ソク はかる	ソク	ソク	ソウ ます・ふえる・ふやす	ソウ	ソウ つくる	ソウ	ソ	ソ
ノイイ代代代貸貸貸貸貸	フヨヨ良良良退退	一十才才打打打損損損損	一十才才玄玄玄玄率率	一尸尸尸尸属属属属	一ニシリ泪泪泪泪泪測測	一日月日月目目則則	一十才才才才地地地地増増増増	ノイイイイ像像像像像	ノ一十生牛告告告告造造	くく糸糸糸糸糸糸総総総総総	一十才才才才素素素素	一才才才才初初初初
貸屋 本を貸す	退場 退学	損害 は損	のう率 確率	付属品 金属	測定 観測	規則 反則	増加 増水	想像 どう像	造船 改造	総会 総合	素質 要素	祖先 祖国

130 129 128 127 126 125 124 123 122 121 120 119 118

文字は□□が作り上げた財産だ。□□へやと帰ることができた。

あの人は絵の□□がある。大切な□□が加わる。

P T A □□があった。□□的な学習をする。

□□所が立ちならんでいる。家を□□する。

ダムの大さを□□する。どう□□が立っている。

□□し、橋は水をかぶった。東浦は人口が毎年□□している。

冷水まさつを□□正しく続ける。ゲームの時、□□をしてはいけない。

南極大陸で科学的な□□をする。身長と体重を□□してもらおう。

ほう石や貴□□を身に付ける。ミシンについている□□。

学級会をのう□□的に運ぶ。雨のふる□□が高い。

□□を少しでも小さくする。石が当たり、ガラスがは□□した。

二人は下手へ□□した。じ石の同じ極は□□け合う。高校を□□した。

あの家は□□だ。学級文庫の□□し出しをする。古い□□を□□す。

イ	寸	多	糸	文	之	糸	提	引	張	築	断	団	心
徳	導	銅	統	敵	適	程	提	張	築	断	団	態	
トク トク	ドウ みちびく	ドウ	トウ	テキ	テキ	テイ	テイ	はる チヨウ	チク きざく	ダン ことわる	ダン	タイ	
ノク イ 行 行 行 行 徳 徳 徳 徳 徳	・ ・ ・ ・ 道 道 導 導	ノ ハ △ △ 金 金 銅 銅 銅 銅	く 么 么 糸 糸 糸 糸 統 統 統	・ ・ ・ ・ 敵 敵 敵 敵 敵	・ ・ ・ ・ 適 適 適 適 適	ノ ニ 千 糸 和 和 程 程	一 才 才 才 提 提 提 提 提	コ コ 引 引 引 引 張 張 張 張	・ ・ ・ ・ 築 築 築 築	・ ・ ・ ・ 断 断 断 断	一口 団 団 団 団	・ ・ ・ ・ 能 能 能 能 態 態	
道徳 徳用	導入 指導	銅貨 銅山	統一 統計	敵意 敵国	適切 適当	程度 工程	提出 提案	主張 出張 見張り	新築 建築	断定 断言	集団 団結	態度 生態	

143 142 141 140 139 138 137 136 135 134 133 132 131

『動物の□□』という本を読んだ。りっぱな□□をとる。

人間は様々な□□を作る。□□して行動する。

ぼくは、みんなの前で□□した。間ちがないと□□する。養子の申しこみを□□る。

土木□□の技術が進んできた。道路にそってへいを□□く。□□したばかりの家。

父が北海道へ□□します。代わる代わる□□りをする。自分の意見を□□する。

学級会の議題を□□する。宿題を□□する。

ガラスの製造□□を知る。ある□□の声の大ききさで話さないと聞こえない。

□□な速さで話すことが大事だ。その場に合った□□な言葉づかいをする。

休む間もなく□□を追い立てた。□□に入りこむ。相手に□□をもつ。

文章を書くときは文体を□□する。テストの□□を取る。

一まいの□□。□□を発見する。

遊びのしょうかいと□□。子どもたちをやさしく□□く。新しい考えを□□する。

父は□□の授業を参観した。□□品を買う。

イ	イ	非	月	比	片	リ	才	石	月	火	イ	才
俵	備	非	肥	比	版	判	犯	破	能	燃	任	独
たわら ヒヨウ	ビ そなえる・そなわる	ヒ	ヒ こえる・こえ・こやす	ヒ くらべる	ハン	ハン パン	ハン	ハ やぶる・やぶれる	ノウ	ネン もえる・もやす・もす	ニン まかせる・まかす	ドク ひとり
ノイ仁仕仕仕仕仕仕俵	ノイ仁仕仕仕仕仕仕備	ノナヲヲヲヲヲヲ非	ノ月月月月月肥	一ヒヒ比	ノリド片片片片版	ノソソ三半半判	ノ才才犯	一厂下石石石石破	ムム个自自自自自能能	ノイ仁仕仕仕仕仕仕燃	ノイ仁仕仕仕仕仕仕任	ノ才才才才才才独独
土俵 米俵	設備 準備	非なん 非常	肥料 肥満	比重 対比	版画 出版	判断 ひょう判	犯罪 共犯	破産 なん破	能力 可能	燃料 燃焼	任命 委任状	独立 独特

156 155 154 153 152 151 150 149 148 147 146 145 144

がらがらした□□の声で話す、ぼくたちの先生。□□国、ばんざい。

学級委員に□□される。仕事を□□せられる。□□を出して会を欠席する。

□□を八年分もたくわえた。石炭が勢いよく□□えているストープ。木炭の□□実験をする。

動物の□□はすばらしい。□□な限りがんばろう。

あの家はついに□□した。船がなん□□した。

□□について講演を聞く。□□者をつかまえた。

問題を正しく□□する。この本は、ひょう□□がよい。

見聞きしたことを本にして□□した。□□の年賀状を出す。

物質の□□はそれぞれちがう。二つの詩の表現を□□してみよう。

麦畑に□□をほどこす。よく□□えた田畑が父の自まんた。私は□□体だ。

図書館を利用する人は□□に多い。失敗したことを理由に□□なんされる。

漁港にある□□について説明する。船に□□え付けの救命ボート。□□運動をする。

力士が□□に上がる。かけ声もろとも□□をかついだ。

169 168 167 166 165 164 163 162 161 160 159 158 157

□□^{こうひょう}だったグループ文集。今、□□^{ひょうばん}のテレビ。

□□^{びん}ぼうに負けずにこつこつと勉強する。□□^{ます}しい□□^{こころ}のままではいけない。

□□^{ます}しくてもがんばる。

集団で農業を□□^{さんぶ}する。とう牛士が赤い□□^めをふった。寒いので□□^{もうふ}を出す。

差出人は見知らぬ□□^{ふじん}だ。あの□□^{ふうふ}は仲が良い。

□□^ふ□□^{じさん}に登る。四季の変化に□□^とんだ日本の風土。食べ物がほう□□^ふにある。

□□^ぶ□□^しは身分が高い。人々は□□^{おしや}ぶるいしながら敵を待った。

兄の足のけがはすぐに□□^{かいふく}した。マラソン大会を□□^{ふっかつ}させる。

水路は□□^{ふくざつ}に曲がりくねっている。文集を□□^{ふくしや}する。

□□^{ぶつ}□□^{きんぎょう}が日本に伝わったのは六世紀だ。□□^{ほとけさま}を、心をこめてほる。

教訓になる話を□□^{へんしやう}する。□□^かみ□□^{もの}に精を出している母。グループを□□^{へんせい}する。

お□□^{べんどう}□□^{べんどう}の後で写生をした。□□^{べんこ}□□^しに相談する。

この人ならば□□^は□□^{しやう}しますよ。わかさを□□^{たも}つ。生命□□^{ほけん}に加入する。

□□^ば□□^ちの前を歩いて帰ろうと決心した。祖母はお□□^{はかまい}□□^りに行っている。

182 181

馬のくらをおろすのは□□でない。この作文の□□はすばらしい。

180

この仕事はぼくの手には□□る。給食を□□にもらった。

全く身動きする□□すらない。一メートル□□りもあるかき根。

□□して大きな利益を上げる。トラックで米を□□する。

夕日を浴びて□□をつんだ。たんぼぼの□□。

□□に□□ったらしい。どちらにしようか□□う。

昨日の夜、こわい□□をみた。弟は野球に□□だ。□□から目が覚める。

三年間の□□めを果たし終えた。権利と□□。学校の□□室。

□□□□けい報が出された。人に□□をふるってはいけない。

海外□□に力を入れることが大切だ。

□□時計を持ってしている船員。火は寒さを□□いでくれます。□□車が走っていく。

172

□□な貯ぞう物資をほこる基地。□□かに水をたたえた湖。今年は□□だ。

171

□□をするときにはメモを利用する。テレビで□□された。

170

□□

183

子ぐまを助けるための□□けいりやくをねった。文を□□しやうやくする。

184

むすこが海外に□□りやうがくしている。□□もすばんをしながら本を読んだ。

苦勞して集め、書き□□とめた昔話。

185

どこの国の□□りやうどでもない南極。買い物をして□□りやうしゆう□□しやうをもらう。